

審議会等の名称	令和5年度第2回西脇市文化財保護審議会
開催日時	令和6年2月20日(火) 午後2時～3時
開催場所	播磨内陸生活文化総合センター 多目的研修室
出席委員の氏名又は人数(敬称略)	瀧原 務、足立裕司、芝本 満、西田 猛
欠席委員の氏名又は人数(敬称略)	埴岡真弓、佐野允彦
出席職員の職・氏名又は人数	教育長 遠藤一博 教育管理部長 高橋芳文 生涯学習課長 長谷川広幸 生活文化総合センター館長 佐藤 彰 生活文化総合センター主任 菅澤敏弘 生活文化総合センター 松岡弘幸
公開・非公開の別	公開
傍聴者	なし
協議又は協議事項	1 令和5年度文化財関係事業報告について 2 令和6年度文化財関係事業計画について 3 その他

会議の記録(概要)	
発言者	内 容
事務局	1 開 会
会 長	2 会長あいさつ
教育長	3 教育長あいさつ
事務局	4 報告及び意見交換 (1) 令和5年度文化財関係事業報告について 資料より、文化財保護事業及び郷土資料館事業について説明。 ● 金城池窯跡群確認調査に関するに関する報告。
事務局	令和5年11月15日から令和6年1月19日までの実働33日間で調査を行った。対象面積は30,000平方メートル強。 97か所のトレンチ(つぼ掘り)を行い、1か所から遺構が発見された。人為的遺構と判断されたため調査を行った。出土遺物は見られな

	<p>かったが炭の堆積が見られた。周辺の窯跡と同時期のものと推測される。</p> <p>今回の調査範囲について、かつては牧草地であったため、調査前には改変は少ないと思われていたが、大きく改変されていた。遺構があったとしてもすでに破壊されていると思われる。</p> <p>今回遺構が発見された周辺のみ本発掘調査が必要で、それ以外は慎重工事で対応するとした。</p> <p>● 郷土資料館の来館者、企画展の来場者について</p>
委員	郷土資料館の入館者数 1,501人は多いのか。
事務局	昨年と比べてもコロナ前と比べても少ない。何か策を考える必要がある。
委員	西脇には良い施設（美術館、テラドーム等）や色々な資料（美術資料、天体資料）があるのに生かし切れていないのでは、文化財と共同で何か行ったらどうか。
委員	<p>共同企画をするなら多可だけでなく小野などもっと広い範囲で行ってはどうか。</p> <p>各市には色々と良い文化財があるのに皆ばらばらで行っている様なので、共同企画をやってみたらどうか。例えば文化財を回るツアーとか、北播地区に埋もれている文化財をいろいろ発信してはどうか。</p>
委員	郷土資料館は車で来なければならず立地が悪い。また、近くに何もない。企画展は郷土資料館で行わなければいけないと考えずに何か他の施設（播州織工房館など）の近くや市役所のホールで行ってはどうか。
委員	文化財担当だけで考えず教育委員会として企画展を考えてみたらどうか。観光課と連携してはどうか。
委員	文化財関係だけでなくいろいろなイベントの案内について、阪神間まで伝わってきていない。西脇を含めた北播地域は発信力が弱いのではないか。
委員	郷土資料館では近隣の市町より早く建っていることもあり、近隣の市町と比べて早くから色々な資料を集められているので、たくさんの

	<p>資料がある。むかしの道具展だけでなく、うまくPRしてその資料を利用すればもっと来場者を集められるのではないか。</p>
<p>委 員</p>	<p>J Rを利用して西脇に来てもらい市内の文化財をめぐる街歩きを計画したらJ Rの利用促進にもつながるのでは。</p>
<p>委 員</p>	<p>民具の展示だけでは興味を持ってもらえなくて、人は集まらない。実際、民具を使ってみるイベントを考えてはどうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>(2) 令和6年度文化財関係事業計画について 資料より、文化財保護事業及び郷土資料館事業について説明。</p> <p>(3) その他 ● 妙覚寺について。</p>
<p>委 員</p>	<p>1月23日に内部の確認に行かせてもらった。 4本の柱のうち2本の柱を切って、大きな厨子が入れられていた。墨書により厨子が入れたのが元禄とあったので建物はそれ以前の建物だということが裏付けできた。 後世に伝えるために調査だけでもさせてほしいと依頼したが、指定文化財でもなく、総代会で諮って決めたことなのでそっとしておいてほしいと言われた。 残念な話であるが所有者の意向であるので仕方がない。</p> <p>閉会</p>